

# 週刊ブロック通信

コンクリート  
製品の業界紙  
**週刊ブロック通信**  
購読、広告の  
お申し込みは  
TEL 03-3431-2811  
FAX 03-3578-3450  
kip@msi.biglobe.ne.jp  
**(株)公共事業通信社**

発行所 公共事業通信社 東京都港区新橋6-22-6 JOYOビル7F 電話 03(3431)2811(代)  
編集発行人 黒澤隆寿 購読料1カ年39,000円+税 前納 毎週月曜日発行 FAX 03(3578)3450

## 小倉セメントが資本参加

### J A I 製品3社でインド進出

武井工業所(本社、茨城県石岡市若松一三二六、社長||武井厚氏)は7月30日、海外事業への投資を目的として上田商会(本社、北海道登別市新川町二五一一、社長||上田朗大氏)及びトヨタ工機(本社、東京都府中市四谷六一二一八、社長||豊田実氏)との共同出資により今年2月に設立した日本アークシステンベストメント(J A I)に、新たに小倉セメント

製品工業(本社、福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘三一一一〇、社長||上田泰博氏)が資本参加したと発表した。これによりJ A Iは資本金1480万円、出資比率は武井工業所、上田商会、小倉セメント製品工業が各32・43%、トヨタ工機2・7%となった。今後、北海道・関東・九州のプレキャストコンクリート製品メーカー3社が連携して、J A Iを通じた海外事業を展開する。

J A Iは不二コンクリート工業(佐賀県)がトヨタ工機等と設立した日印合弁企業、フジ・シルバートック・コンクリート(F S C)との共同出資により、インド・グジャラト州でコンクリート製品製造販売のフジ・インフラストラクチャ・テクノロジーズ(F I T)の設立手続きを進めており、5月30日に登記が完了。現在はインド政府が国家プロジェクトとして、インド西部マハラシュトラ州アウランガバードで整備を進めているスマートシティ「アウランガバード・インダストリアル・シティ(A U R I C)」に工場用地(約6万3000㎡)を取得するための契約手続きに入っている。また従

業員の採用にも着手、今後は赴任者の現地での生活環境の確保、工場の詳細設計や工事発注など2020年8月の生産開始に向け、動きを加速する考えだ。

小倉セメント製品工業は武井工業所や上田商会と同様、機械設備や型枠などプレキャストコンクリート製品の生産に必要な設備の多くをトヨタ工機から調達している。またF S Cの日本側出資社である不二コンクリート工業との関係も深く、各社は長年にわたる人的交流がある。武井工業所は同社の参画について「J A Iの投資は人材・資金共に各社の経営資源がベースで、F I Tに対する支援体制がより強固なものになる」と歓迎するコメントを発表している。

同プロジェクトは政府の「官民研究開発投資拡大プログラム(P R I S M)」を活用して、18年度からスタート。直轄工事などを受注している建設企業や建設コンサルタントとI O T(モノのインターネット)、A I、ロボット関連企業などで構成するコンソーシアムから対象技術に関する提案を公募し直轄工事の現場などで試行する仕組みで、今回はデジタルデータの活用によって「施工の労働生産性の向上を図る技術」に13件(うち18年度からの継続6件)、監督・検査の効率化など「品質管理の高度化を図る技術」に12件(同5件)を選定した。

このうちコンクリート製品に関するプロジェクトでは、プレキャスト部材に個別のメーカーを貼付しておくことで、施工後にプレキャスト部材の3次元位置情報などを取得できるよう、あらかじめ設定し出来形確認や検査を効率化する技術(戸田建設、ケーアイテクノロジ)、建設物価調査会)を現場で試行する。

超耐久耐壁高欄を開発  
GFRPで腐食排除  
三井住友建設



右から上田(朗)、武井、上田(泰)の各氏(インドAURICで)

「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」として計25件を決定した。

### 革新的技術導入 活用プロ選定

国土交通省

国土交通省は2019年度の「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクト」として計25件を決定した。

- 超耐久耐壁高欄を開発  
GFRPで腐食排除  
三井住友建設
- 第7期総会を開催  
施工計延長450kmを達成  
日本雑草防止工法研究会
- 施工延長累計219km  
全国規模で実績重ねる  
SJ-BOX協会